

衣笠山からの便り

第116号 令和6年9月15日発行
発行元 社会福祉法人心の会 理事長 若山 三千彦
住所 〒238-0026 横須賀市小矢部4-19-4
電話 046-850-3301 (法人本部)
ファックス 046-852-4040



◎さくらの里 (デイサービス・ケアマネ) 小矢部 4-19-4 TEL852-0500
◎さくらの里山科 (特別養護老人ホーム・ショートステイ) 太田和 5-86-1 TEL857-6333
◎さくらの家二番館 (高齢者グループホーム) 小矢部 4-15-8 TEL850-3125
◎さくらの家三番館 (高齢者グループホーム) 小矢部 4-15-7 TEL850-5688
★さくらグループHP <http://sakura2000.jp/>
◎あすなろ学苑 (障害者就労継続支援B型事業) 小矢部 4-19-4 TEL852-0600
◎あすなろの家 (知的障害者グループホーム) 第1・2・3・5・8 横須賀市内 TEL852-1221 (第3あすなろの家)
◎相談室あすなろ (衣笠障害者相談サポートセンター) 公郷町 2-7-19 コワ衣笠ビル1階 TEL853-3415
★あすなろ学苑HP <https://asunarogakuen.com/>
◎まちの診療所つるがおか (地域支援型診療所 内科在宅診療部他) 鶴が丘 2-3-9 TEL825-5121

特定技能実習生

7月下旬、インドネシアから6人の特定技能実習生さん達が来日しました。

4人が特別養護老人ホームさくらの里山科で、2人がグループホームさくらの家三番館で働いています。

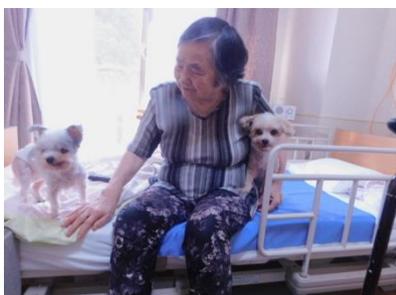
文化も風習も異なる日本での生活に慣れることも、初めての介護の仕事を習得するのも大変だろうと思いますが、皆さん明るく頑張っています。

これから法人を支えてくれる若者たちの活躍を期待しています。



ココは虹の橋へ

7月4日、ココが虹の橋に旅立ちました。享年12歳。大好きなお爺ちゃんに再会して甘えていることでしょう。



ペットと暮らせる特養から

クロは虹の橋へ

前回ご紹介したクロが8月23日に虹の橋へ旅立ちました。享年17歳。ホームで11年暮らしました。

新入居の

マロン&ポリー

7月14日、飼い主のご入居者様といっしょに入居しました。マロンが14歳の男の子、ポリーが13歳の女の子です。大好きなお婆ちゃんとこれからもずっと一緒です。



法人施設活動報告：あすなろ学苑

就労継続支援B型事業



神戸スイーツコンソーシアムに参加

一流のパティシエの先生から焼き菓子の技術指導を受ける講習会「神戸スイーツコンソーシアム」に、苑生と職員が参加しました。

現代の名工に選ばれ、フランス菓子作りの重鎮である永井紀之先生から、フロランタン、プロパンサルの2種類のアーモンド菓子を教えて頂きました。

今回参加した苑生さんは、開所から約24年間パン工房で活動されてきた方ですので、材料の計量、生地を混ぜる、伸ばす、アーモンドヌガーを鍋で煮る等、様々な工程に手際よくチャレンジしていました。作りあげたものは、苑に持ち帰り、全苑生・職員で試食しました。その後苑内で何回も練習を繰り返しましたので、近々新商品としてデビューする事でしょう。

参加された苑生さんは、「私が作ったの。美味しくできたの。私代表で勉強してきたの」と自信に満ちた笑顔で報告してくれました。苑生さんが一段と輝いて見え私達も大変嬉しく思っております。



法人施設活動報告：相談室あすなろ

衣笠障害者福祉センター
相談室あすなろ



ボッチャ大会を開催

室長：岸川江利子

横須賀市の障がい相談支援事業所全体会でボッチャ大会を行いました。当所の相談員も参加し、夢中になって汗を流しました。ボッチャはパラリンピックの正式種目で、重度脳性麻痺者のために考案されたスポーツですが、障がいの有無や年齢、性別に関わらず楽しめる競技として注目されています。

最初に、お2人の講師に、デモンストレーションをして頂きました。車いすユーザーの方と麻痺のある方ですが、投げ方はそれぞれに合ったスタイルで投げていました。ボッチャのルールは簡単なのですが、ボールの位置取りや投げ方等々の作戦は、とても奥深い競技だということがわかりました。まさに、障がいがあってもなくても、分け隔てなく共にできるスポーツとして、とても面白いです。



ボッチャの道具は、幾つかの障害者支援施設で貸し出しをしていますから、町内会の行事等でぜひ「ボッチャ」を試してみたいはいかがでしょうか？

法人施設活動報告：あすなろの家

知的障害者グループホーム

第一（小矢部）・第二（小矢部）

第三（小矢部）・第五（若宮台）

第八（太田和）



夏のイベント色々

お寿司とビールで乾杯、焼き肉パーティー、かき氷に焼きそばでプチ夏祭り、花火など、それぞれのあすなろの家で、色々な夏のイベントを開催しました！暑い夏に熱く盛り上がりました。



法人施設活動報告：さくらの里山科

特別養護老人ホーム
ショートステイ



インドネシアの浴衣美人 特養ホーム

3-4ユニットでは、5年ぶりに夏祭りイベントを開催しました。特定技能実習生さんにも、日本の伝統を体験してもらおうと、浴衣を着てもらいました。ご入居者様も大喜びでした。



麻雀で勝負 特養ホーム

ご入居者様お2人と職員で麻雀を行いました。後ろで観戦しているご入居者様もおりましたので、次回はご入居者様のみで卓を囲めそうです。麻雀は手先と頭を使うので、リハビリにも、認知症進行予防にも効果があると言われています。

菖蒲園を散策 ショートステイ

5年ぶりに菖蒲園に行ってきました。お客様からも「やっと菖蒲の花がみれたわ」という声が上がっていました。本当に、やっとコロナ前の普通の生活が取り戻せたように感じました。これからは色々な外出事を企画したいです。



法人施設活動報告：さくらの里ケアマネジャー



訪問介護の使い方③ ケアマネ部門管理者（主任）・神田恵美子

親が暮らす家が散らかっていて、違和感を抱くことはありませんか？ご高齢になると、視力、筋力、意欲の低下により、片付けが難しくなってきます。

冷蔵庫の中に消費期限切れの食品がたくさんあったり、家の中に異臭が臭うことはありませんか？ご高齢になると、食品の状態の把握が難しくなる場合があります。

別々に暮らしていると、なかなか普段の親の状況がわかりづらいと思います。お父様、お母様がお一人で暮らされている場合は特にご心配でしょう。

そこで、例えば週に1回訪問介護を利用して、ヘルパーさんが一緒に掃除、冷蔵庫の整理などをすると、傷んだ食品の処分やゴミの分別なども適切にできます。

ヘルパーさんは、オムツ交換や入浴介助などの直接介護だけでなく、このような生活全般の支援もでき、実はそちらの方が大切だったりします。

訪問介護の使い方は色々あるので、親の生活について何かお悩みがある場合は、まずはケアマネジャーにご相談ください。



法人施設活動報告：さくらの家

高齢者グループホーム
二番館、三番館

ベランダ菜園でナスの収穫

二番館では、広いベランダにずらりとプランターを並べて、色々な野菜を栽培しています。夏の日差しをたっぷり浴びて、大きくて立派なナスが育ちました。ご入居者様が嬉しそうに収穫しました。自分たちで作ったナスは、美味しさもひとしおですね。



法人施設活動報告：さくらの里デイサービス

夏祭りは大盛り上がり！

ハッピーを着てお神輿をかつぎ、浴衣を着て盆踊り。さくらの里の夏祭りは今年も大いに盛り上がりました！





コロナワクチン定期摂取開始 副院長；白井輝 10月1日からの新体制

ご高齢者様対象

10月1日～、自己負担約3千円

新型コロナウイルスの最初の流行（第1波）は2020年4月で、はや4年経過したこの8月になると11度目の流行の波が来ています。4年以上にもわたって依然として人間社会に定住しつつある凶太い厄介なウイルスですが、その特徴は感染拡大しやすい変異株を創出し続けていることです。現在の主流はオミクロン株から派生した変異株「KP.3」で、これまでのオミクロン株よりも病原性は低いですが感染性つまり免疫をかいくぐる性質が強いとみられ第11波の立役者として振舞っています。このような厄介なウイルスに対して私たちはどのように対応していくべきなのでしょう。

一般的な感染対策の原則には、1)感染源隔離、2)感染経路の遮断、3)感染に対する抵抗力向上、の3つの大きな柱があります。具体的には人混みを避け、マスクや手洗いを徹底し、ワクチン接種を社会的に励行して個人だけでなく集団としての抵抗力（免疫力）を高めていくことです。

厚労省によると、今年度から定期接種となった新型コロナのワクチン接種は、10月1日を目安に各自治体で始める予定です。定期接種の対象は65歳以上の人と、60～64歳で基礎疾患のある人。接種費用はおよそ15,000円の見込みですが、国と地方自治体からの助成があり、自己負担は3000円程度になる見込みです（注1）。

当診療所においても今まで通りコロナワクチン接種には積極的に取り組んでまいります。ご希望の方はお電話で問い合わせ下さい。

注1）一人当たりの助成金は国から8000円、横須賀市から4000円で計12000円の予定

外来診療体制

時間\曜日	月	火	水	木	金	土
9時～12時	○	○	○	○	○	△
15時～18時	×	×	×	×	○	×

※第1・第3土曜日の午前中は外来が開いております。

ご寄付の御礼とお願い

6月～8月の3ヶ月で、多数のご寄付を頂きました。貴重なご寄付ありがとうございました。

- ◎17名様から合計2,430枚以上の紙マスクを頂きました。
- ◎17名様から合計3,600枚以上の使い捨て手袋を頂きました。
- ◎15名様からペットフード・用品、供花のご寄付を頂きました。
- ◎13名様からタオル、オムツ、家具、衛生用品、食品等を頂きました。
- ◎11名様から合計410,000円のご寄付を頂きました。



*複数回ご寄付を頂いた方、お一人で数種類のご寄付を下さった方は、重複してカウントしております。ご了承下さい。

※紙マスクと使い捨て手袋が不足しております。ご寄付頂けると助かります。よろしくお願い致します。使い捨て手袋は、ゴム製又はニトリル製で、Mサイズ又はLサイズの物をお願い致します。

※ご寄付は次の口座へのお振込みにてお願い致します。

- ①みずほ銀行 衣笠支店 普通口座 口座番号：1956146
口座名義 社会福祉法人心の会
- ②ゆうちょ銀行 口座記号：00280-5 口座番号：0048529
口座名義 社会福祉法人心の会

※ご寄付金については領収証をお送りしますので、法人本部までお知らせ頂ければ幸いです。社会福祉法人の寄付領収証は確定申告等にご利用頂けます。



よこすか犬と猫の病院

広告

診療時間 月～日(年中無休) 9時～12時、16時～19時 救急対応 21時～翌朝5時
横須賀市佐原1-10-3(フジスーパー佐原店近く) 電話046-827-6092

さくらの里山科の本『看取り犬・文福』宝島社・定価1,430円(税込み)好評発売中

『犬が看取り、猫がおくる、しあわせのホーム』光文社1,760円(税込み)好評発売中